

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
108	芸術	美術 I	2	選択必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材	
1	音楽 I 美術 I 書道 I	なし	美術 1 (光村図書)	

目 標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、表現力、判断力	学びに向かう力、人間性
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元・作品名	学習内容	到達 度 目 標
前 (絵画) 未来予想図 「よく観察して描こう」	名作を基にして、時間が経過した内容を想像して描く。 ・知識や技能について造形的な視点で実践を通して高める。	<ul style="list-style-type: none"> よく見て描くことの大切さを実感し、着色について、混色や重ね塗りなどの工夫ができる。 常に画面全体を捉えながら、細部を描くことができる。 主体的な発想を基にして、主題を生成し独創的な表現内容を構想することができる。
期 (彫刻・工芸) 仮面の制作	生活の場で生かせる美術品について思考し、表現する。 ・塑造的な表現	<ul style="list-style-type: none"> 美術の役割等について理解を深め、主体的に創造的な造形表現の構想を練ることができる。 材料や技法の特性を理解して、表現方法を工夫することができる。
後 (デザイン) 切り絵の制作	生活の場で生かせる美術品について思考し、表現する。 ・単純化した図案	<ul style="list-style-type: none"> 美術の役割等について理解を深め、主体的に創造的な造形表現の構想を練ることができる。 材料や技法の特性を理解して、表現方法を工夫することができる。
期 (映像メディア表現) ストップモーションアニメーションの制作	アニメーションの基礎 ・動画の原理	<ul style="list-style-type: none"> アニメーションの特質を生かし、ストーリー、構図、動き等を創意工夫して効果的に表現できる。
期 (鑑賞) 日月山水図屏風	多様性や個性を認め合う。	<ul style="list-style-type: none"> 造形を豊かに捉える多様な視点で見たり感じたりできる力を深める。 他者の見方や感じ方などから、多様性を認め、自分の中に新しい意味や価値を作り出すことができる。

取得可能な検定や資格

なし